

トゲチヨ

第 1 号

発行：会津南部地区管理体制整備推進協議会
 会津南部土地改良区連合
 阿賀川土地改良区
 会津中央土地改良区
 会津大川土地改良区

T E L: 0242-56-3030 FAX: 0242-56-3080

4月は、農業水利施設の施設管理強化月間です。

毎年継続して実施されます。みんなの水路!みんなで点検!



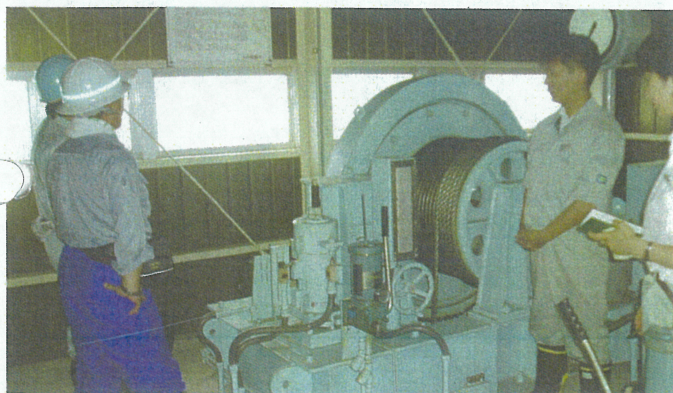
本郷発電所内点検



馬越管理事務所内点検

福島県農業水利施設管理検討会では、毎年4月を「施設管理強化月間」と定め、一斉点検を実施しました。

会津南部土地改良区連合との対象施設である、馬越頭首工の施設を点検し、21世紀土地改良区創造運動との連携をしました。



馬越土砂吐ゲート上点検



馬越取水口巻上機点検



馬越ゲート機側盤点検



馬越水管理システム点検

昨年の4月15日(日)に、本郷スポーツ少年団の小学生(3年生から6年生)と父兄を対象とした出前講座を開催し、全国水土里ネット製作「ケイタとピースケの大冒険」の上映会を行い、水路の役割と危険性、土地改良区の果たす役割について学習しました。更に農業水利施設を見学し、施設の持つ多面的機能について理解を深めてもらう活動を実施しました。



歌川理事長の挨拶を聞き入る参加者達



「ケイタとピースケの大冒険」を上映



馬越頭首工施設の役割を説明



馬越管理事務所で水管理システムを説明



大川取水口の付近を見学する児童達



馬越頭首工施設見学会終了後の記念撮影



施設補修の状況



施設管理の状況



水管理の状況

広い南部地区の水路全部を良好に保つためには、地域と連携した綿密な管理が必要となります。今後も皆様のご協力をよりしく願います。

水路の管理とは、大きく3つに整理できます。それは、水管理、施設管理、施設の補修になります。水管理とは水路に均等に通水する管理です。施設管理とは浚渫・刈払い等の通水を良好に保つための施設の管理になります。施設の補修とは、施設を維持するために壊れた所を補修することです。この三者が良好に保たれ、水路としての機能は十二分に発揮されます。

「水路の管理」
って何だろう？

水路の管理とは、大きく3つに整理できます。それは、水管理、施設管理、施設の補修になります。

ホタルを探せ!!

昔はあちらこちらで見られたホタルも今ではほとんど見ることができなくなっています。

今回の取材で訪れ会津若松市北会津地区では、地域住民の団結によって北会津ホタルの里をまもる会を結成して、水辺環境の保全に力を入れています。そこでホタルについてホタルの里をまもる会会長の鈴木武雄さんに取材協力をいただきました。

Q「どのようなところにいますか？」

A 水がきれいなところだけでなく、よどみもありカワニナもいて、ある程度日光が当たり木陰もあるところに生息します。

Q「どうして光るのですか？」

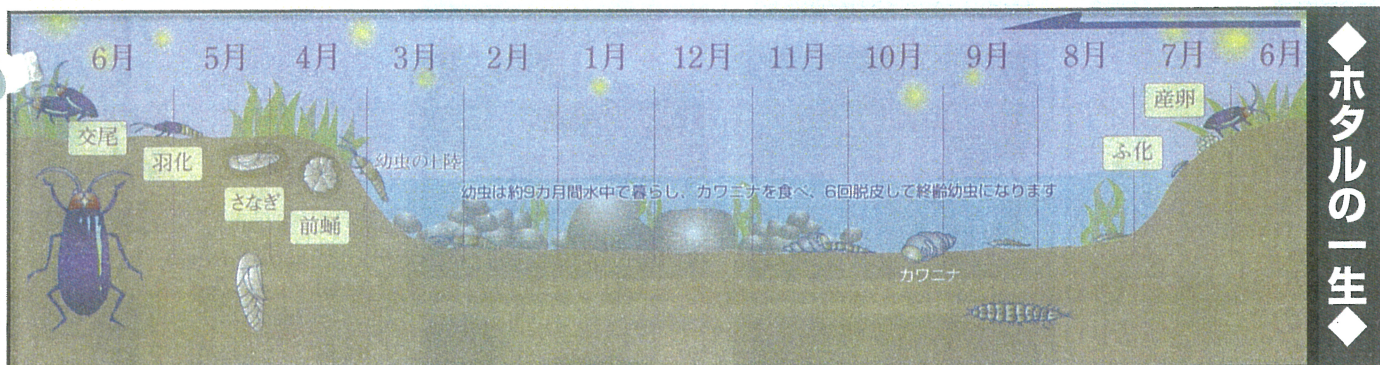
A 交尾のための求愛で、光を出すルシフェリンとルシフェラーゼが酸化ルシフェリンという物質に変わるエネルギーにより光ります。

Q「ホタルの寿命は？」

A 寿命は一年でおおくは水の中で過ごします。実際幼虫のホタルが見られるのは北会津周辺で6月中旬から6月下旬です。特に、本郷駅の裏、北後庵の北、西麻生、ホタルの森公園には多く飛んでいるようです。

Q「何を食べているのですか？」

A 幼虫の時はカワニナを食



◆ホタルの一生◆

べ、成虫になれば酸素を吸収し水を飲むだけです。

Q「ホタルはどの位生きられるのですか？」

A 卵、幼虫、さなぎ、成虫と1年かかりますが、ほとんど水中の中で過ごします。

Q「ホタルを守るためには？」

A 除草剤の使用量を減らし、減農薬・減化学肥料に取り組みましょう。

Q「最後に一言メッセージをお願いします。」

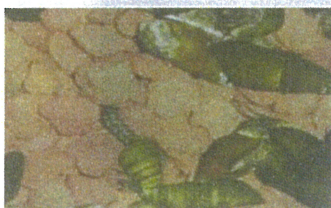
A 各団体にも声をかけながら広報活動をしていきたいですね。大川流域の環境を守るべく交流会などを開催し、遊びをとおして水環境について子供達に教えホタルの里を守りたいと思います。

カワニナ

～ホタルのえさ～



大きさは約3cmで、川や池、沼の底に住みます。殻は黒い皮でおおわれています。300～400の子貝を生みます。



幼虫がカワニナを食べているところ。



ホタルの幼虫

この人に聞け!

北会津ホタルの里を
まもる会 会長

鈴木 武雄さん
昭和4年3月1日
会津若松市北会津町本田



「自然を大切にしてほしいですね。」

～題名「トゲチヨ」名前の由来～



イトヨは、トゲウオ科のイトヨ属の一種で夏でも水温二十度を超えない湧き水が必要であり、この辺りではトゲチヨと呼ばれ、一年あまりの寿命である。トゲチヨのように皆さんの水路や自然を大切に思う気持ちがさらに広がってほしいという願いを込めて名付けました。

ゲンジホタルの一生

ゲンジホタルの一生は、産卵から成虫になるまで約1年かかります。幼虫は約9カ月間水中で暮らし、カワニナを食べ、6回脱皮して終齢幼虫になります。

産卵数は500～1000個、孵化率は0.5%程度です。孵化した幼虫は約2ミリの大きさで、水の中にいます。

成虫は、カワニナを食べて生活します。成長に合わせた、幼虫の体の長さは約3センチです。

成虫は、カワニナを食べて生活します。成長に合わせた、幼虫の体の長さは約3センチです。

第4回

あいづみさとまち・郷の道・水土里ネット健康ウォークを開催!!



【曇り空の中、水土里ネット職員が受付】



【午前9時にせせらぎ公園7kmのコースを一斉スタート】



【歴史ある「うつろ堰」について説明し、聞き入る参加者】



【御用地分水庭において土地改良区の仕事を聞き入る参加者】



【水車のある公園において】

会津南部推進協議会では、二十一世紀創造運動の一環として、水土里ネットの職員10名がスタッフとして協力し「水の大切さ、この水はどこから流れてくるのか」を参加者達にウォーキングを取り入れ理解していただくかなと思っております。3箇所のポイントで土地改良施設を説明しながら併せて土地改良区の仕事の内容も話をしました。「今回のウォーキングもただ歩くだけではなく所々で施設の説明あったので、楽しかったです。」という言葉を参加者から聞かれ、今後も水の大切さ土地改良区の役割を知ってもらうために、この健康ウォークを町とタイアップして継続的にやっていく計画です。



【本郷発電所で「土地改良区と発電」について説明する東里工業株の社員】



【ウォーキング終了後お楽しみ抽選で、記念品を喜んで受け取る】



【ボランティア活動の一つとして芋汁を、お鍋によそう水土里ネット職員】



【「おなかすいたよ」芋汁をいただく参加者】

土地改良区施設の役割や仕事の内容をウォーキングを通してPRイベント盛大に開催!

昨年の十月二十一日(日)に秋空の下で、第四回あいづみさとまち・郷の道・水土里ネット健康ウォークを、会津南部地区管理体整備推進協議会と会津美里町本郷公民館の共催で実施しました。二十一世紀創造運動の一環として土地改良施設を説明するウォーキングを企画し、新聞、チラシ等でPRをしながら参加者を募ったところ、会津美里町民及び町外(近隣からは会津若松市、会津坂下町、遠くは福島市)から150名の参加者があり、健康ウォーキングを楽しみました。

水土里ネット 豆知識

みなさんは、水土里ネットの区域ってどうやって決められているかご存じですか?

水土里ネットは市町村などの行政毎に区切られているのではなく、ダムや大きな河川などの受益の及ぶ範囲で水系毎に区切られています。

会津南部地区では三つの水土里ネットがあります。

水土里ネット会津中央は、主な水源を大川から取水して、会津若松市、湯川村、会津美里町を区域としています。

水土里ネット阿賀川は、会津坂下町を区域としています。

水土里ネット会津大川は、会津若松市と会津美里町を区域としており、必ずしも行政Ⅱ水土里ネットという形にはなっていない。

~ちょっと一息~ クイズに挑戦

次のうち、水土里ネット会津中央の区域に当てはまらない地域がありますが、それはどれでしょうか?

- ①会津坂下町 ②会津美里町
③会津若松市

答えと、住所、氏名、年齢、電話番号を書いて下の宛先まで送ってね!
正解者の中から抽選で10名の方に景品をお送りします。締切3月25日まで

編集後記

今回のとげちよ第一号の編集を終えて感じたことは、色々なイベント(ウォーキング、出前授業等)を展開して様々な人達と交流を図られたことが良かったことです。特に子供達に水の大切さやこの水はどこから来るのかの疑問点を解消してもらえたことが良かったです。大人になってから次世代の子供達に受け継がれたらいいなあと思いつつ、この活動を継続的に続けたいと思います。皆さんも子供達に土地改良区のこと水路のことについて話す機会があったら積極的に教えて頂きたいと願います。

宛先

※クイズ ※ご意見ご希望

会津南部地区管理体整備推進協議会

(福島県・会津若松市・湯川村・会津美里町・会津坂下町)

事務局 〒969 6101

大沼郡会津美里町字駅前 2616

水土里ネットって?

みなさんは、水土里ネットという言葉を知っていますか?

水土里ネットとは、土地改良区の基本となる「水」(農業用水、「土」(農地)、「里」(農村空間)のつながりをイメージして名付けられた土地改良区の愛称のことです。